

2025年度エキスパート意見交換会

- 日時： 2026年 2月 17日（火） 13:30～17:30
(現地参加者は18:30頃まで名刺交換・懇親)
- 場所： AP東京丸の内 会議室E+F+H (WebEx併用)
- 講師（敬称略）及び講演内容：
江藤学 (一橋大学) 「ルール形成・標準化のビジネス活用」
永江彰子 (びわこ学園医療福祉センター草津) 「ISO 80369-3(経腸栄養分野の小口径コネクタ製品)導入と日本の半固形栄養 私とISOの関わり/医師の立場から」
- 参加者：
13TC(ISO/TC76,84,106,121,150,172,194,198,210,272,276,IEC/TC62,TC87)及び医機連、厚労省、経産省、PMDA関係者他から87名

2025年度エキスパート意見交換会



江藤学講師



永江彰子講師

- ✓講師陣による知識・経験の共有
- ✓小グループ意見交換
- ✓全体意見交換
- ✓懇親・名刺交換



2025年度エキスパート意見交換会

【議論内容】

- 標準化活動に人材をリクルートする方法
- 医療従事者の関与を促進する方法
- 若手教育、育成の有効な方法
- 行政に求める支援、必要な行政の関与
- 日本のプレゼンスを向上させるノウハウ
- 標準化活動に理解を示す組織上層部の重要性、理解を得るための対応
- 標準化活動の成果を組織にアピールするための方法
- 標準化活動の予算確保の困難さ
- 他国の標準化施策

など

【成果】

- 13のISO/IEC Technical Committeeを含む87名が参加
- 講師による講演より、参加者の知識・知見の向上を図った
- 参加者間での意見交換により、共通課題の共有、課題解決方策の検討、チーム日本としての連携強化等を図った

事後アンケート（結果概要）

- 回答率：64%
- 満足度：98%（総合満足度について「やや満足」以上の方）
- 継続開催、参加の希望：98%
- エキスパート意見交換会を通じて得られたものがあった方：100%

（いただいたご意見の例）

- 所属組織の標準化への理解を深めるための手段、及び標準化人材の発掘・育成について引き続き議論したい
- 認識している課題についてテーマを絞って議論することもあると考える

（次年度の開催について）

- より皆様のご要望にかなう内容での企画（テーマを絞った議論、成果につながる議論等）
- 関心の高い講演・議論テーマの設定（ビジネス関連、標準化活動成功事例等）